

# 新田火まつり

天に捧ぐ 新田開拓に尽くした  
農耕馬へのレクイエム



火を放たれた馬ねぶたが満月の夜に昇天



6人の男衆が炎の舞を見せる

「かつてこの地は「けち（飢渴）の国」と言われる荒れた湿地帯で、先人たちの壮絶な新田開拓の果てに現在の津軽平野がある。この地を人々と共に歩き、開拓に尽くした同志が農耕馬であり、新田開拓の歴史は馬と共にある――

新田火まつりは、亡き馬の「鎮魂の儀式」として毎年執り行われています。両手にたいまつを掲げた男衆が、開拓を支えた馬への感謝を込めて狂気乱舞。十数人の巫女がかがり火を灯すと、会場は暗闇に炎が浮かぶ幻想的な雰囲気。馬ねぶたに火が放たれると、馬の魂が天に昇っていくかのように、激しい炎が夜空に舞い上がりました。

## 馬力大会

(亀ヶ岡公園)

人馬一体となり、高さ約4mの坂を駆け上る。その迫力に、県内外から来た観衆から大きな声援が上がりました。



## 市民イベント広場

郷土芸能の発表やよさこいソーランなど多彩なステージが催され、多くの観客でにぎわいました。



県下登山ばやし大会



よさこい馬市

# つがるちゃんぐ優勝！

## 青森県全国ゆるキャラすもう大会

9月17日、イオンモールつがる柏で青森県全国ゆるキャラすもう大会（荒谷政志大会実行委員長）が開催され、県内外から来た22体の精鋭が熱戦を繰り広げました。



決勝戦でねばっちを押し倒すつがるちゃん



応援ありがとう！

大会には、行司役や応援団も含めて総勢29体が集結。取り組みでは、ゆるーい押し合いや、ゆるくない豪快な投げなども繰り出され、会場は大歓声に包まれました。

つがるちゃんは、地元の声援を受けて大会初戦から登場。過去5回の大会では、昨年の初勝利が唯一の白星でしたが、今年は得意の押し相撲であれよあれよと決勝の舞台に進出。決勝戦では、身のこなし軽めのねばっち（十和田市）を相手に、押し倒しで見事勝利。全5戦を制して念願の優勝を飾りました。

つがるちゃんの優勝に、会場は割れんばかりの大歓声。つがるちゃんの絵を掲げて声援を送った工藤彩未ちゃん（車力小2年）は「毎年応援していたから優勝してくれてうれしい。つがるちゃんおめでとう」と、応援でガラガラになった声で話してくれました。



## 井上さん7度挑戦で栄冠 上原げんと杯争奪のど自慢大会

第40回上原げんと杯争奪のど自慢大会の準決勝、決勝が8月25日、向陽小学校体育館で開催され、約2000人の歌謡ファンが予選を突破した歌声を楽しみました。審査の結果、つがる市の井上喜代一さんが優勝しました。

多くのヒット曲を生んだ木造出身の作曲家・上原げんとを顕彰する大会。この日は予選を勝ち抜いた32人が準決勝に臨み、うち10人が決勝へ進出しました。

井上さんは、決勝で「岩木川」を歌い、特別審査員を務めた作曲家・若草恵さんに「心に響いて感動した。言葉一つ一つをしっかりと表現していて素晴らしい」と高い評価を受けました。

大会長を務める福島市長から優勝トロフィーを受け取った井上さんは「7度目の挑戦で優勝できた。ここまで来られるとは思わなかった」と喜びを語りました。